

2022 年度

聖学院大学サステイナビリティ推進センター

事業報告書



聖学院大学サステイナビリティ推進センター

2023年3月31日



刊行によせて



聖学院大学サステナビリティ推進センター所長
政治経済学部 准教授
西海 洋志

本学は2019年度より、学生と教職員が協働し、SDGs達成に向けた様々なプロジェクトを展開してきました。まず、2019年に有志の学生・教職員が、「学食寄付メニュープロジェクト」を実施しました。これは、学食の売上の一部を国連WFP（世界食糧計画）に寄付することで、発展途上国の学校給食を支援する取り組みです。コロナ禍でキャンパスが使えなかった2020年を除き、2019年から継続的に実施しています。また、2020年はコロナ禍による大幅な制約がありながらも、意欲的な学生が工夫をしながら活動を継続し、SDGs推進学生団体「Petite Arche（プチ・アルシュ）」を立ち上げるに至りました。2021年にはコロナ禍の活動制限が緩和されたことで、学生の活動が多様化・拡大し、活気を帯びてきました。それとともに、大学としても学内外の連携を拡大・深化し、大学全体として「サステナブル（持続可能）な社会と世界」の実現に向けた持続的な取り組みを行っていくために、プロジェクト・ベースの取り組みから脱し、常設の組織を設置する準備をしてきました。

こうした経緯を踏まえ、2022年4月に開設されたのが「聖学院大学サステナビリティ推進センター（Seigakuin Sustainability Center: SSC）」です。SSCは、地域と世界をつなぐ「地域のプラットフォーム」として、本学の学生・教職員および学外の諸組織・団体との連携・協働を促進し、持続可能な社会と世界の形成に向けた「グローバルな役割」を果たすことを目的としています。そのために、今後、学内の様々な組織や取り組みを有機的に結びつけ、「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）」のカリキュラムへの実装を推進するとともに、学内外の諸組織・団体との連携を強化・拡大していきたいと考えています。2022年度は、学生団体Petite Archeの主体的な活動をサポートすると同時に、関東学院大学、青山学院大学、豊島株式会社の協力のもと、SSC開設記念イベントを実施しました。とりわけ古着ファッションショーは開設記念に相応しい盛り上がりを見せました。イベント後の反響も大きく、学外とのネットワークや連携をさらに広めていくきっかけにもなっています。

本報告書にまとめた通り、開設初年度は非常によいスタートを切ることができました。この勢いを活かし、今後、SSCがより有意義な役割を果たしていけるように、スタッフ一同、全力で取り組んでいきます。皆様のご支援、ご協力を賜れますよう、よろしくお願いいたします。

目次

刊行によせて	1
2022 年度の主な事業報告	3
1. 聖学院大学サステイナビリティ推進センター(SSC)開設記念イベントの開催 ..	3
2. SDGs Week EXPO 2022（エコプロ）への参加.....	6
3. 学食寄付メニュープロジェクトの実施.....	7
各事業報告	8
1. 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進	8
2. 国際協力や地球規模課題解決のためのプロジェクトの実施.....	9
3. 持続可能なまちづくりにおける連携・協力	10
4. 外部機関や他大学とのネットワーキング	11
5. SDGs やサステイナビリティの推進活動を行う学生の育成・サポート	13
6. SDGs やサステイナビリティに関するイベントなどの実施、情報の収集・発信	15
資料集	17
1. メディア掲載	17
2. SSC 2022 年度 年間事業一覧.....	18

2022 年度の主な事業報告

1. 聖学院大学サステナビリティ推進センター(SSC) 開設記念イベントの開催



2022年4月に聖学院大学サステナビリティ推進センターが開設したことを記念して、「SEIG Fashion Revolution 2022～好きなこと×SDGs」を開催した。当日は、公開講演会および古着ファッションショーが本学チャペルにて行われ、多くの方々に参加いただいた。また、古着のリメイクに挑戦するワークショップや古着リサイクル会場も設けられたほか、本イベントに参加した3大学の活動紹介やファッションに関する問題の啓発などのパネル展示、協力企業のサステナビリティにかかる取り組みなどの紹介も行い、大盛況のうちに本イベントを終えることができた。

日時： 2022年11月16日(水) 10:00～16:00
会場： 聖学院大学(ハイブリッド開催)
企画： 関東学院大学石坂ゼミ、青山学院大学 SANDS、
聖学院大学学生団体 Petite Arche、サステナビリティ推進センター
共催： 政治経済学部政治経済学科、人文学部欧米文化学科
協力： 豊島株式会社
参加者： 会場 約220名、オンライン 約110名



プログラム：

- 10:30～10:40 開会あいさつ 清水正之 聖学院大学学長
- 10:40～11:50 公開講演会「大量廃棄社会の、その先へ」
仲村和代 朝日新聞社デジタル機動報道部次長
- 11:50～12:00 豊島株式会社の取り組み紹介
八木修介 豊島株式会社営業企画室
- 12:10～12:55 古着ファッションショー
- 13:00～16:00 古着リメイクワークショップ&リサイクル

動画視聴 URL： 公開講演会 <<https://youtu.be/J-eVYyccVMI>>
古着ファッションショー <<https://youtu.be/LNEiCmmctME>>
古着ファッションショー・ダイジェスト版
<<https://youtu.be/aQFYF-SXDCY>>
ファッションショーで披露されたコーディネート資料
<<https://sway.office.com/C9d06nUkGQGbX5Xd>>

○公開講演会「大量廃棄社会の、その先へ」

『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実』(光文社新書、2019年)の著者である朝日新聞社デジタル機動報道部次長の仲村和代氏に、アパレル業界での大量廃棄問

題や、その問題がこれまで深刻な問題として認識されてこなかった理由、大量廃棄が行われてしまう仕組みやファッション業界における事情などを詳しく講演いただいた。

仲村氏の講演後、豊島株式会社の八木修介氏から自社によるサステナビリティに関する取り組みの紹介があり、オーガニックコットン普及プロジェクト「ORGABITS」や繊維製品を素材ごとに回収し再生する「WAMEGURI」などについての説明があった。



○古着ファッションショー

古着ファッションショーでは、SSC と本学学生団体の Petite Arche が協力して、企画、運営を行った。ファッションショーでの衣装には Petite Arche、関東学院大学の石坂貴美ゼミ、青山学院大学の SANDS の学生たちがそれぞれの大学内で回収した古着を持ち寄った。各団体がテーマに合わせて考えたコーディネートで、学生モデルがまとめてランウェイを歩き、イベントを盛り上げた。最後に、表彰式で審査員の選んだ 4 コーデに対し SSC 賞、サステナブル賞、ORGABITS 賞、ほっこり賞が授与され、大盛況のうちにファッションショーを終えた。



○古着リサイクル

イベント当日は本学内で回収された状態の良い古着を展示し、気に入ったものの持ち帰りを提案した「古着リサイクル会場」を設けた。24着の服が新たな持ち主によって持ち帰られ、任意でお願いした寄付にも多くの方にご協力いただいた（寄付金総額：4,264円）。寄付先については、学生団体 Petite Arche がSDGsのGoal 4「質の高い教育をみんなに」にも貢献したいということで、教育の機会を十分に得られない子どもたちに教育支援を行っている公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンを選び、全額寄付を行った。

また、同じ会場には豊島株式会社による展示や、Petite Arche、関東学院大学石坂貴美ゼミおよび青山学院大学 SANDS の団体活動紹介や各団体がまとめたファッションに関する問題などについてのパネルを掲示した。



○ワークショップ

Petite Arche が古着を使ったワークショップを主催し、古着ファッションショーに参加した学生団体が古着のリメイクに挑戦した。学生たちは古着を細く紐状に裂いたものを織り込む、江戸時代から伝わる裂織という手法を使ってコースターづくりを行い、手先を動かしながらのコミュニケーションも楽しんでいた。



2. SDGs Week EXPO 2022（エコプロ）への参加

2022年12月に東京ビッグサイトにて開催されたSDGs Week EXPO 2022（エコプロ2022）に、Petite Archeがブース出展を行った。聖学院広報センターやSSCのサポートを受けながら出展の準備を進め、イベント期間中はブースで積極的に自分たちの活動紹介を行った。

ブースでは昨年11月にSSC開設記念イベント内で開催された古着ファッションショーの写真パネルや動画、ショーで使用した古着のコーディネートを表示。Petite Archeの学生メンバー数名はファッションショーで着用したものを着て来場者に対応した。さらに、Petite Archeが学内で取り組んでいる学食寄付メニュープロジェクトや野菜づくりプロジェクトにも触れながら、「好きなこと×SDGs」をキーワードにSDGsの推進活動を精力的に行っていることを来場者に紹介した。

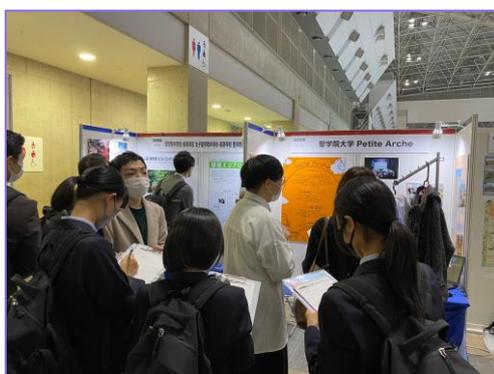
イベント期間中は同じく出展していた他大学の学生や教職員とも情報交換を行い、それぞれが抱えている課題なども共有しながら交流を深めた。また、社会学習で来場していた小中学生のインタビューに応え、エコプロ2022のブログページで情報を発信するなど行った。

日時： 2022年12月7日（水）～9日（金）10：00～17：00

会場： 東京ビッグサイト

エコプロ2022ウェブサイトでのPetite Archeのブログ記事 URL：

<https://messe.nikkei.co.jp/exhibitor/info/EP/ja/18170>



3. 学食寄付メニュープロジェクトの実施

本プロジェクトは学食の売上の一部を、開発途上国などで学校給食支援を行っている国連 WFP（世界食糧計画）に寄付する取り組み（学食約 1 食分の寄付金で、給食費 1 食分を支援）で、2019 年度、2021 年度に続いて 3 回目の実施となる。

今年度は「自分の食べたいものが寄付につながる」をテーマに掲げ、Petite Arche と SSC が連携しながら学内アンケートを実施した上で、本学で学食の提供を行う株式会社レパストとも協力してメニュー開発を行った。メニュー提供期間には、Petite Arche が学生食堂に国連 WFP の行う活動などについての展示を行った。今回も多くの方に協力いただき、寄付メニュー提供期間後に行ったアンケートでも満足度が高く、来年度も期待する回答が多かった。

期 間： 2022 年 12 月 5 日（月）～23 日（金）

※本プロジェクト準備期間は 7 月～12 月

提供場所： 聖学院大学 4 号館 1 階 学生食堂

企 画： 学生団体 Petite Arche、株式会社レパスト、
サステイナビリティ推進センター

寄付金総額： 24,340 円（960 食の売上→給食約 811 食分の寄付）

寄付メニュー：



メニュー	値段	うち寄付金額
フライドポテト	200 円	20 円
プーティン	250 円	20 円
ドーナツ（プレーン/チョコ）	150 円/200 円	20 円
サラダ	200 円	20 円
サービスセット	450 円	30 円
日替わりプレート	500 円	30 円
日替わりデザート	250～350 円	30 円

利用者の声（アンケートより抜粋）：

- サイドメニューの一部については、寄付メニュー等の期間限定ではなく、今後とも常時、4 号館食堂のメニューの選択肢のなかに加えていただけると良いかもしれません。
- 自分が食べたいもの、好きなものを美味しく食べて簡単に寄付できるのがいいと思いました。デザートがあったのがよかったです。
- 普段 4 号館食堂にはあまり行かないのですが、開催期間は行くようにしました。メニューが変わったのはよかったですと思います。



各事業報告

1. 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

大学のカリキュラムや課外活動へ SDGs や ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の導入、サステナビリティについて考えていくための取り組みを促進するため、以下を実施した。



① 授業協力：人文学部欧米文化学科「国際ボランティア入門 A」

SSC 専門職員による「国連世界食糧計画（WFP）」についての説明と、学生団体 Petite Arche による学内外での SDGs 推進活動の紹介を行った。

日 時： 2022 年 6 月 3 日（金）2 限
会 場： 聖学院大学
参加者： 欧米文化学科学生



② 「海洋プラスチック汚染」オンライン講義への参加

聖学院高等学校・グローバルイノベーションクラスの生田教員によるゼミ授業の中で行われたオンライン講義「海洋プラスチック汚染」（講師：海洋研究開発機構・中嶋良太研究員）に、高校生とともに学生たちが参加した。

日 時： 2022 年 6 月 18 日（土）10：40～12：00
会 場： 聖学院高等学校
参加者： Petite Arche 学生 2 名、教員 1 名（オンライン参加）

③ 授業協力：政治経済学部政治経済学科「予備演習 B」

教育開発センターが政治経済学部政治経済学科の「予備演習 B」において行った初年次教育試行プログラム「グローバルなライフスタイルを学ぶリベラルアーツ」の中で、SSC 専門職員が映画『Eye in the Sky - 世界一安全な戦場』に関する「話題・視点提供授業動画」を作成した。SDGs Goal 4「質の高い教育をみんなに」や開発途上国における教育状況などについての講義を行った。

日 時： 2022 年 12 月 5 日（月）4 限／8 日（木）3 限／9 日（金）2 限のいずれかの授業で視聴
会 場： 聖学院大学
参加者： 政治経済学部政治経済学科学生全 1 年生

④ 国連世界食糧計画（WFP）協会職員によるゲスト講義

政治経済学部政治経済学科「国際機構論」において、国連 WFP 協会職員の瀬上倫弘氏による国連 WFP の活動についての講義を開催した。

日 時： 2022 年 12 月 20 日（火）4 限
会 場： 聖学院大学
参加者： 政治経済学部政治経済学科学生

⑤ 授業協力：聖学院中学校中 1 総合学習「L.L.T. (Learn, Live Together)」

聖学院中学校の依頼を受け、聖学院大学ボランティア活動支援センターの主導により、大学の他のボランティア団体とともに Petite Arche が授業を行い、学内外における SDGs 推進活動の紹介を通して中学生との交流を図った。中学生からは、ボランティア活動でのやりがいや失敗についての質問があった。

日 時： 2023 年 3 月 1 日（水）10：50～11：40
会 場： 聖学院中学校
参加者： 聖学院中学校 1 年生
(Petite Arche の担当クラスは 37 名)



2. 国際協力や地球規模課題解決のためのプロジェクトの実施

国際協力や地球規模課題の解決に取り組むために、学内外の学生団体や企業、NPO・NGO などと連携して、SDGs やサステナビリティに関するプロジェクトやイベントを企画・実施した。



① 学食寄付メニュープロジェクトの実施

期 間： 2022 年 12 月 5 日（月）～23 日（金）
場 所： 聖学院大学 4 号館食堂
※詳細は「2022 年度の主な事業報告 3. 学食寄付メニュープロジェクトの実施」を参照。

② 古着ファッションショーの開催

日 時： 2022 年 11 月 16 日（水）12：10～12：55
会 場： 聖学院大学 チャペル
※詳細は「2022 年度の主な事業報告 1. 聖学院大学サステナビリティ推進センター（SSC）開設記念イベントの開催」を参照。



3. 持続可能なまちづくりにおける連携・協力



地域の自治体などと協力しながら、SDGs やサステナビリティを推進し、可能な発展に貢献するための活動を行った。

① 埼玉県庁での「SDGs de 地方創生カードゲーム」の実施

埼玉県共助社会づくり課の職員研修の依頼を受け、「SDGs de 地方創生カードゲーム」の公認ファシリテーターの2名を含む本学職員3名を派遣し、カードゲームを行った。

日時： 2022年5月18日（水）9：30～12：30

会場： 埼玉県庁第3庁舎 4階講堂
（さいたま市浦和区高砂）

参加者： 埼玉県庁職員 21名
（共助社会づくり課17名、計画調整課総括・SDGs推進担当4名）



② SDGs 実践事例の発表

「2022春『SDGs 実践事例学習交流会』」（主催：NPO オール上尾市民活動ネットワーク、共催：聖学院大学地域連携・教育センター）において、Petite Archeの学生3名が登壇し、学内外で行なっているSDGs推進活動について発表を行った。

日時： 2022年5月22日（日）13：30～16：30

会場： 上尾市コミュニティーセンター多目的室2
（ハイブリッド開催）

参加者： 約30名



③ 埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームへの入会

埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームの掲げる目的「ワンチームで埼玉版 SDGs を推進する」に賛同し、2023年1月に入会した。本学におけるSDGs やサステナビリティへの取り組みなどの情報発信を行いながら、本プラットフォーム会員の多様な企業・団体等との交流を深め、連携し、「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現することを共に目指す。

④ 桶川市での講演

桶川市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課からの依頼を受け、地域連携・教育センターの若原所長が桶川市の委員対象の研修会で講師を務め、「自分と世界を変える学び—聖学院大学のSDGsへの取り組み」という題目で講演した。

日時： 2023年3月27日（月）10：00～11：30

会場： 桶川公民館（桶川市西）

参加者： 桶川市社会教育委員、生涯学習推進委員、公民館運営審議会委員など
約50名

4. 外部機関や他大学とのネットワーキング

SDG やサステナビリティを推進するためのプロジェクトの実施やイベント等への参加を通して、他大学や企業、国際機関などの外部機関との連携を強化した。



① いまここファームでのフィールドワーク

農業を通じた地域活性に取り組んでいる「いまここランド合同会社」が運営する畑で、会社代表の江守敦史氏に畑で実際に行われている循環農業や養鶏などについての話を伺い、伐採した木を片付ける作業なども行った。昼食に畑で収穫した野菜をいただいた後、参加者全員が車座になり農業に関心を持ったきっかけなどの共有を行った。

日時： 2022年5月29日（日）8：40～15：00
会場： いまここファーム（埼玉県上尾市領家）
参加者： 学生団体 Petite Arche 学生9名、職員1名



② 関東学院大学との交流

i) ワークショップ予行演習への参加

SDGs 達成に貢献するための学びおよび活動を行う関東学院大学・石坂ゼミの学生による、食糧問題に関する高校生向けのワークショップの予行演習に、Petite Arche の学生が高校生役として参加した。関東学院大学の学生との初めての対面での交流となった。

日時： 2022年6月5日（日）13：00～17：30
会場： 国連WFP協会 横浜国際協力センター会議室（神奈川県横浜市中区新港）
参加者： Petite Arche 学生9名、本学教員1名、関東学院大学学生10名、
関東学院大学教員1名、国連WFP協会職員1名 計22名

ii) オンライン報告&交流会

関東学院大学の石坂ゼミ生が作成した報告書「古着が語る！世界のつながり」をもとに、2021年度に取り組んだ古着回収プロジェクトについてのオンライン報告を行い、Petite Arche の学生が質問等をしながら交流を深めた。

日時： 2022年6月16日（木）
12：30～14：00
会場： 聖学院大学エルピスホール
（オンライン開催）
参加者： Petite Arche 学生9名、教職員2名、
関東学院大学学生数名、関東学院大学
教員1名、国連WFP協会職員1名



③ SDGs 達成に取り組む企業への訪問

SSC 開設記念イベント協力企業である繊維専門商社の豊島株式会社を訪ね、営業企画室の八木修介氏より本社ビル内にあるサステナビリティに関する展示の案内や SDGs に対する会社の取り組みの説明を伺った。

日 時： 2022 年 9 月 15 日（木）
会 場： 豊島株式会社 東京本社
（東京都千代田区神田岩本町）
参加者： Petite Arche 学生 3 名、教職員 2 名、
関東学院大学学生 3 名、関東学院大学
教員 1 名、青山学院大学学生 3 名



④ 3 大学合同による古着ファッションショーの開催

日 時： 2022 年 11 月 16 日（水）12：10～12：55
会 場： 聖学院大学 チャペル
振り返り実施日：2022 年 12 月 16 日（金）
※詳細は「2022 年度の主な事業報告 1. 聖学院大
学サステナビリティ推進センター（SSC）開設
記念イベントの開催」を参照。



⑤ SDGs Week EXPO 2022（エコプロ）への参加

日 時： 2022 年 12 月 7 日（水）～9 日（金）10：00～17：00
会 場： 東京ビッグサイト（東京都江東区有明）
振り返り実施日：2022 年 12 月 23 日（金）
※詳細は「2022 年度の主な事業報告 2. SDGs Week EXPO 2022（エコプロ）
への参加」を参照。

⑥ 学食寄付メニュープロジェクト実施における株式会社レパストや国連 WFP 協会との連携

期 間： 2022 年 12 月 5 日（月）～23 日（金）
提供場所： 聖学院大学 4 号館食堂
振り返り実施日：2023 年 1 月 18 日（水）
※詳細は「2022 年度の主な事業報告 3. 学食寄付メニュープロジェクトの実施」
を参照。

⑦ 未来屋書店への展示物の提供

株式会社未来屋書店の上尾店からの依頼を受け、書店スペース内での SDGs に関する展示協力を行った。Petite Arche の活動や SSC 開設記念イベント内で行われた古着ファッションショーに関するパネルや写真を展示した。

期 間： 2023年3月10日（金）～31日（金）
場 所： 未来屋書店 上尾店
（イオンモール上尾内）



⑧ 「THAT'S FASHION WEEKEND」での展示

ファッション・アートイベント『東京クリエイティブサロン 2023』日本橋エリアにて、SDGsを体現するプロジェクト「THAT'S FASHION WEEKEND」が開催され、SDGs推進活動を行う全国の大学の学生団体の活動紹介の場が設けられ、Petite Archeもパネル展示を行った。

期 間： 2023年3月18日（土）～19日（日）
場 所： 福徳の森（東京都中央区日本橋室町）

5. SDGs やサステナビリティの推進活動を行う学生の育成・サポート

SDGs やサステナビリティに興味を持つ学生や、学内外でSDGs推進活動を行っている学生団体への支援を行った。



① 裂織（古着リサイクル）ワークショップの開催

学生団体 Petite Arche が企画運営を行い、江戸時代から伝わる「裂織」という伝統技法を使って、学内で回収した古着をコースターにリメイクするワークショップを2022年度は3回開催した。

i) 第1回

日 時： 2022年4月21日（木）～22日（金）12:15～12:55
会 場： 聖学院大学1号館 1Café
参加者： のべ25名（学生24名、教員1名）



ii) 第2回

日 時： 2022年11月16日（水）※SSC 開設記念イベント内
会 場： 聖学院大学 エルピスホール
参加者： 青山学院大学学生7名、関東学院大学学生10名

iii) 第3回

日 時： 2023年1月19日(木)
会 場： 聖学院大学1号館 1Café
参加者： 学生6名

② 農業体験

Petite Arche は学内での野菜づくりに取り組むために、いまここファームでの農業体験に月1回程度参加し、土づくりなどの実践的なことから農業に関する課題などについて学んだ。

実施日： ①2022年7月24日(日)、②8月9日(火)、
③9月8日(木)、④10月26日(水)、
⑤2023年2月23日(木)、⑥3月28日(火)
会 場： いまここファーム(埼玉県上尾市領家)
参加者： ①学生3名、②学生3名、
③学生3名、職員1名、④学生3名、
⑤学生4名、⑥学生2名



③ 第2回古着回収

Petite Arche は2021年度に引き続き、2回目の学内古着回収を行った。今年度は219着集めることができ、これらを使って、古着ファッションショーでのコーディネートを作り、裂織ワークショップも開催した。また、回収した服で状態の良いものは、SSC開設記念イベント内で設けた古着リサイクル会場で展示し、気に入った服を来場者に持ち帰っていただく取り組みも行った。

日 時： 2022年7月下旬～10月28日(金)
回収場所： 聖学院大学キャンパス内4か所
①1号館1階正面入口、②2号館1階正面入口、
③4号館1階コンビニ付近、④7号館1階正面入
回収枚数： 219名
寄付金総額： 4,264円 (古着リサイクル会場で集められたもの。公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンへ全額寄付。)

※詳細は「2022年度の主な事業報告 1. 聖学院大学サステイナビリティ推進センター(SSC)開設記念イベントの開催」を参照。



④ 学内での野菜づくり

Petite Arche からの要望により、キャンパス内の使用されていない一部の土地を借りて畑づくりを始めた。来年度より野菜の栽培を行えるために、今年度は主に土づくりを行った。

期 間： 2022年10月～現在
場 所： 聖学院大学北キャンパス花壇内



⑤ ボランティア・トーク セッション

ボランティア活動支援センター主催で、SDGs 推進活動を学内外で行う Petite Arche の前年度代表の学生と、本学の学生団体でボランティア活動に熱心に取り組んでいた学生とがボランティア活動に関する対談を行った。そのダイジェスト動画を聖学院広報センターの公式 YouTube にて公開した。



日 時： 2022年12月20日(火)
場 所： 聖学院大学1号館 1Café
主 催： 聖学院大学ボランティア活動支援センター
動画視聴 URL：<https://youtu.be/eEm2Co-UjxQ>

⑥ 高校生新聞 ONLINE「高校生が選ぶ 学生食堂メニュー紹介企画」での紹介

「高校生新聞 ONLINE」が企画した「学生食堂メニュー紹介」に、学生団体 Petite Arche が学食寄付メニュープロジェクトを通して学食で提供していたメニューのエントリーを行った。高校生読者によるアンケートの結果、「高校生が選んだ人気の『学食メニュー』10選」に選ばれ、6位にランクインした。

期 間： 2022年12月上旬～下旬
URL：<https://www.koukouseishinbun.jp/articles/-/9507>

6. SDGs やサステナビリティに関するイベントなどの実施、情報の収集・発信

SDGs やサステナビリティの推進のために、学内外の諸組織（学生団体、企業、NPO・NGO など）と連携してイベントなどの企画・実施をしています。また、本学における取り組みの発信なども行っています。



① SSC 紹介に関するインタビュー記事の掲載

『東洋経済 ACADEMIC SDGs に取り組む大学特集 Vol. 4 「行動の10年」の新たなステージへ：持続可能な社会実現に向け加速する「連帯・連携」』でのインタビューで、SSC の西海所長と専門職員が SSC の目的や展望などを語った。



② 第3回 SEIGAKUIN SDGs コンテストの開催

聖学院広報センター主催、聖学院教育デザイン開発センター、聖学院中高 GIC との共催で、SEIGAKUIN SDGs コンテスト（写真・動画コンテスト）を開催。SSC 所員がフォト&ムービー部門で審査員として参加した。



応募期間： 2022年9月1日(木)～10月10日(月)
審査発表： 2022年11月上旬
主催： 学校法人聖学院広報センター

共催： 聖学院教育デザイン開発センター、聖学院中高 GIC、
聖学院大学サステナビリティ推進センター
URL： <https://www.seig.ac.jp/news/2398/>

③ **SSC のホームページ開設**

SSC のホームページを開設し、SSC の概要や設立目的、取り組みなどについて紹介を行っている。また、イベントやプロジェクト後にレポートの発信も行っている。

URL： <https://www.seigakuin.jp/about/ssc/>

④ **公開講演会の開催**

SSC 開設記念イベント「SEIG Fashion Revolution 2022～好きなこと×SDGs～」の中で、朝日新聞社の仲村和代氏を招き、公開講演会「大量廃棄社会の、その先へ」を開催した。

日時： 2022年11月16日（水）10：30～12：00

会場： 聖学院大学

※詳細は「2022年度の主な事業報告 1. 聖学院大学サステナビリティ推進センター（SSC）開設記念イベントの開催」を参照。

⑤ **ニュースレターの作成・発行**

「SDGs & Seig Newsletter 2022-2023」を学生団体 Petite Arche と協力して作成し、2023年3月に発行した。内容は主に Petite Arche の2022年度の活動紹介となっている。



資料集

1. メディア掲載

- ① 「聖学院大学 サステイナブルな社会の形成に寄与する「知の共同体／地域のプラットフォーム」へ」, 東洋経済新報社 『東洋経済 ACADEMIC SDGs に取り組む大学特集 Vol.4 「行動の10年」の新たなステージへ：持続可能な社会実現に向け加速する「連帯・連携」』, 2022年7月8日, pp.76-79.
記事閲覧用 URL :
https://www.seigakuin.jp/files/8116/6303/2359/touyoukeizai2022_p076-079.pdf
- ② 「SDGs 理解深めて 古着でランウエー 聖学院大でファッションショー」, 毎日新聞, 2022年11月17日, 朝刊, p.21.
記事閲覧用 URL :
<https://mainichi.jp/articles/20221117/dtl/k11/040/116000c>
- ③ 「サステナビリティ推進センター開設記念イベント ファッション産業に関する課題解決を模索（聖学院大学）」, 大學新聞, 2022年12月10日, 第210号, p.2.
- ④ 「INTERVIEW: SDGs を一緒に考えていきましょう～聖学院大学に「サステナビリティ推進センター」を開設」, 東京商工リサーチ埼玉支店 『TSR 情報 2023 新春特集号』, 2023年1月, p.90.
- ⑤ 「学生団体 Petite Arche が「SDGs Week EXPO 2022」にブース出展 古着の魅力をアピール」, 毎日新聞 大学倶楽部 (Web 版), 2023年1月23日,
<https://mainichi.jp/univ/articles/20230120/org/00m/100/012000c>.
- ⑥ 「Interview Movie : サステイナブルな未来と大学の使命」, ぼらぶら SDGs 高大連携プラットフォーム,
<https://volunteer-platform.org/sdgs2/seigakuin-u/>.

2. SSC 2022 年度 年間事業一覧

月	日	事業など
2022 年	1 日	聖学院大学サステナビリティ推進センター開設
4 月	21~22 日	裂織ワークショップ (Petite Arche 主催)
5 月	18 日	埼玉県庁職員研修での「SDGs de 地方創生カードゲーム」実施
	22 日	2022 春『SDGs 実践事例学習交流会』での Petite Arche による事例発表
6 月	3 日	人文学部欧米文化学科「国際ボランティア入門 A」での授業協力
	5・16 日	関東学院大学との交流会
	18 日	「海洋プラスチック汚染」オンライン講義への参加
7 月	下旬~ 10 月 28 日	古着回収
9 月	1 日~ 10 月 10 日	第 3 回 SEIGAKUIN SDGs コンテスト (主催: 聖学院広報センター、共催: 聖学院教育デザイン開発センター、聖学院中高 GIC、聖学院大学サステナビリティ推進センター)
	14 日	聖学院大学サステナビリティ推進センター ホームページ公開
	15 日	豊島株式会社への訪問
10 月	下旬	キャンパス内 畑での土づくり開始
11 月	16 日	SSC 開設記念イベント (公開講演会・古着ファッションショー・古着リサイクル・ワークショップ) の開催
12 月	上旬	高校生新聞 ONLINE 企画「学食メニュー紹介」へのエントリー
	5・8・9 日	政治経済学部政治経済学科「予備演習 B」での授業協力
	5~23 日	学食寄付メニュープロジェクトの実施
	7~9 日	SDGs Week EXPO 2022 (エコプロ) への参加
	20 日	国連世界食糧計画 (WFP) 協会職員によるゲスト講義の開催 ボランティア・トーク・セッション (主催: ボランティア活動支援センター)
2023 年	17 日	埼玉県官民連携プラットフォームへの入会
1 月	19 日	裂織ワークショップ (Petite Arche 主催)
3 月	1 日	聖学院中学校「L.L.T. (Learn, Live Together)」での授業協力
	10~31 日	未来屋書店上尾支店への展示物提供
	18~19 日	「THAT'S FASHION WEEKEND」での活動紹介展示
	27 日	桶川市の研修会での講演
	30 日	「SDGs & Seig Newsletter 2022-2023」の発行